

## 「食事バランスガイド」活用説明会」の概要

- 1 日 時 平成21年3月5日(木) 13:30~16:00
- 2 場 所 山梨県立男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)  
山梨県甲府市朝気1-2-2
- 3 主 催 関東農政局山梨農政事務所  
後 援 山梨県、山梨県食育推進協議会  
山梨県調理師会、山梨県栄養士会
- 4 参加者 公募による食品事業者等 39名  
関係機関職員等 8名  
講師：(財)食品産業センター普及・食育推進部主事 二瓶 徹  
事例発表者：(株)マルエツ営業計画部課長 樋垣 芳恵  
オリジン東秀(株)お客様サービス部長 藤田 誠一  
山梨農政事務所 所長 駒井 正道  
消費・安全部長 堀口 昇  
消費生活課 課長 栗山 省一  
" 課長補佐 早川 員男  
" 消費経済係長 上田 正  
" 調査指導係長 奥山 祐司  
表示規格指導官 岩間 光明  
地域課 課長補佐 八巻 義隆  
" 消費経済係長 小沢 正樹
- 5 内 容(概要)
- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| ① 主催者あいさつ                | 山梨農政事務所長                      |
| ② 講演「食事バランスガイド」の活用と実践事例」 | 講師                            |
| ③ 事例発表                   | 株式会社マルエツ<br>オリジン東秀(株)         |
| ④ 意見交換                   | 講師、事例発表者<br>消費・安全部長<br>消費生活課長 |

### 6 意見交換概要

参加者：	当店には食育委員会があり、今までに子どもを対象に、ぬり絵イベントなどを実施しました。今後も食育活動を実施するのですが、食レンジャーなどのキャラクターを活用するのに、著作権等の問題が生じるでしょうか。また、山梨で行われている企業等の食育活動を教えて下さい。
------	---

講師：	キャラクターを使用する場合には、なんらかの条件等が確かにあります。食レンジャーを使用する場合は、食品産業センターのホームページからダウンロードして使用できますが、「このように使用してください」との条件はあります。食レンジャー以外に食品産業センターが作成した食事バランスガイドのリーフレット、ポスター等がありますので、こちらは無料でダウンロードし企業名等も入れていただき使用できるようにしています。ぜひ、ご活用していただきたいと思います。
事務所：	山梨の取組みですが、昨年に日本食育事業を活用して、オギノさんが今日事例発表されたマルエツさんと同様に、食事バランスガイドの活用を中心とした食育活動を行いました。また、食育活動の一環として、教育ファームというものがありますが、これに関しては、コープやまなしと山梨農政事務所が連携し、子どもたちに一連の農作業を体験していただいた経過もあります。その他にもたくさん食育活動している企業、団体等があります。
参加者：	山梨県栄養士会でも、児童館を中心に子ども、親子を対象に無料で栄養教育等を行っています。
山梨県：	キューピー富士吉田工場とテンヨ武田醤油で工場見学と出前講座をしております。山梨県では、食育応援団、食育ボランティア等を募集しており、企業とのタイアップで食育を推進しております。
事務所：	工場見学、出前講座ですと関東農政局の行動計画として、親子体験学習という形で、はくばくさんと協力し実施しております。また、関東農政局のホームページに農業体験を受け入れる団体等も掲載されております。
事務所：	講師にお聞きいたしますが、今回は学校給食に関係する方も出席しますので、食品産業センターとして、学校給食に関する取組があればご紹介いたします。
講師：	どこの行政でも行っていると思いますが、栄養教諭の集りの会や保健審議会などに出向き、食事バランスガイドの説明を行っております。また、栄養教諭、保健士さん等は、深く食事に関係いたしますから、食事バランスガイドの整合性に疑問等を持っている方もいますので、国の指導書を配布しながら「こうしたらどうですか」と問いかけながら行っております。
参加者：	オリジンさんの説明で、学校へ出向いての食育活動の話がありましたが、学校栄養士、栄養教諭との連携はどのようにされていますか。山梨の学校栄養士も食育活動には熱心ですし、栄養教諭も年々整備されていますので、これからもっといろんな所と連携し効果的な活動をとっています。
オリジン：	出前授業を行っているのは、足立区と港区ですが、足立区では、出前授業のできる企業として校長会で学校に流していただいています。依頼があった学校で、栄養士さんと話をさせていただいて、食べ残しの問題を多く聞きます。また、オリジンらしい授業をお願いされますので、食事バランスガイドのイラスト表現であるコマを中心にバランスのよい食事についてお

	話させていただきます。
参加者：	マルエツさんの話で、食育に興味のない人を対象とした取組が大事という話がされましたが、私どもは募集によりイベント参加者を集めていますので、基本的に食育に興味のある方が参加しています。興味のない方への活動が必要と思っていますので、マルエツさんで何か工夫していることがありましたら教えていただきたい。
マルエツ：	<p>マルエツとしても悩んでいるところですが、1つは店内での食育イベントがあります。スーパーには、買い物を目当てに来るお客様がほとんどありますので、買い物をしながら食育のきっかけを提供する方法。2つ目は、子どもを引き付けるイベントで付き添いのお父さん、お母さん、また、おじいちゃん、おばあちゃんを食育の入口に誘う方法があります。方法に限らず大事なことは、声をかけること、つまり人と人とのコミュニケーションです。パンフレットを店内に置いておくだけでは持ち帰ってもらえませんので、必ず声をかけるようにしております。マルエツでは現在も従業員の教育を重視しています。</p> <p>現在では、インターネット販売も増加していますので、ホームページ上での食育情報の提供も大事だと思います。</p>
参加者：	日頃から農水省には指導やパンフレット、ポスターの提供ありがとうございます。山梨県栄養士会では、古い傘を加工して食事バランスガイドのコマを作ったり、パネルシアターで食事バランスガイドの媒体を作ったりしていますが、スクリーンで紹介された媒体は、食品産業センターのオリジナルなのか、それとも市販されているものなのですか。食育推進のため、新しい媒体を考えていますが安くても有効的な媒体はありますか。
講師：	食品産業センターとしては、食レンジャー、紙媒体はホームページからダウンロードできます。基本的に媒体作成は企業でお願いしていますが、食品産業センターにあるものをお貸しすることも可能ですので相談してください。
事務所：	食育推進にあたり意見、要望等がございましたら、お気軽に山梨農政事務所にご相談いただきたいと思います。